

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長		平成27年 7月 24日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）
京都市右京区梅津高畝町4-7		日新電機株式会社 代表取締役社長 小畑 英明
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001 環境マネジメントマニュアル	
適用範囲	日新電機株式会社 本社・工場・支社・支店並びに国内の子会社・関連会社	
導入年月日	平成13年6月13日	
認証番号	㈱日本環境認証機構 EC01J0057	
基本方針	<p>1. 環境配慮製品創出 製品の設計から使用、廃棄に至るまでのライフサイクルにおいて、環境に配慮した製品づくりを行う。</p> <p>2. 温暖化防止 (1) 省エネルギー：省エネルギー活動により、エネルギー使用量の低減を促進し、CO2の発生量を削減する。 (2) SF6の 대기排出抑制：電気絶縁ガス（SF6）の 대기への排出を抑制する。</p>	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p>1. 環境配慮製品創出：製品使用時CO2排出量2000年度比20%削減</p> <p>2. 温暖化防止 2-(1) 省エネルギー：生産高CO2原単位を2010年度比5%削減 2-(2) SF6の 대기排出抑制：SF6ガスの 대기排出率を 2.0%以下</p> <p>3. 排出抑制 3-(1) 省資源・リサイクル：生産高総廃棄物量原単位を2010年度比4%削減 3-(2) 揮発性有害化合物（VOC）の 대기への排出量削減：2010年度比5%削減する施策の実行</p>	
目標を達成するための取組の内容	<p>1. 環境配慮製品創出：高効率製品製作、生分解性絶縁油を含まないコンデンサの評価、環境製品販売活動「環境」対話活動、配慮型製品の採用検討、EMS未導入の取引先に対しての要請と指導</p> <p>2. 温暖化防止 2-(1) 省エネルギー：不要照明の消灯、冷暖房の温度管理徹底、業務用車平均燃費向上、自動車使用の外出の回数削減</p> <p>3. 排出抑制 3-(1) 省資源・リサイクル：分別の徹底、廃樹脂の再燃料化徹底、銅板の歩留まり向上活動、輸入時の梱包廃材削減</p>	
目標を達成するための取組の進捗状況	<p>環境配慮製品創出：高効率機器拡大のためのPR資料を整備 重量低減機器の設計・製品化 購入品の環境配慮製品の採用</p> <p>温暖化防止：原単位で、2010年度比29%削減 高効率照明機器への切り替え、冷暖房の温度管理 高効率変圧器への変更</p> <p>排出抑制：輸送に専用コンテナを使用し木枠削減、廃塗料の削減、材料使用量の最適化</p>	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	計画通りに進んでいる。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	大気汚染、水質汚濁など法規制に基づき定期的に測定を実施している。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	活動目標の評価・見直しについては、年1回実施している。平成26年度は、中長期計画（平成27年度到達年度）の4年目で、4年目の目標は達成できたので、引き続き次期計画に成果を反映し活動を進める。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。